

Topics 安来市地域包括支援センターの愛称が決定しました。

令和元年7月4日に「令和元年度 第1回安来市地域包括支援センター運営協議会」が開催され、安来市地域包括支援センターの愛称が「**高齢者まるごと相談センター**」に決定されました。

これに伴い、8月1日、基幹センターひろせにおいて看板設置式が執り行われました。

式には、地域包括支援センターの運営母体である安来市社会福祉協議会の小笹邦雄会長、田中正美常務理事が出席し、愛称「高齢者まるごと相談センター」の看板を設置しました。



小笹会長（左）と田中常務理事（右）



Topics 地域包括支援センターのホームページを開設しました。

地域包括支援センターの概要、各センターの所在地などの基本的な情報のほか、事業計画・事業報告、包括評価なども掲載しています。以下のアドレスからご覧いただけます。

<https://www.yasugi-hokatsu.jp/>

「自立支援型ケアマネジメント会議」の取り組み

【目的】
自立支援・重度化防止の観点を踏まえ、専門職のアドバイスを受けることで要支援者等の生活行為の課題解決など、状態の改善に導き、「自立を促すこと」ひいては「高齢者のQOL向上」を目指しています。



専門職によるアドバイス



アドバイスを受けての実践報告（半年後）

居宅ケアマネジャーによる事例提供・評価報告に対し、アドバイザー（行政・管理栄養士・歯科衛生士・主任介護支援専門員・リハビリ専門職・薬剤師等）とともにケアマネジメントの実践力向上を目指して取り組んでいます。（6月から翌2月まで月1回開催）

昨年のケア会議では、事例提供者の9割以上が「ケアプランの見直しに役立った」と声を寄せていただいております。今後、本市における自立支援・重度化防止に役立つと思われれます。

— 参加者の声 —

- 事例提供者
ケアマネジャーとしては「問題なし」と思っていた事が、会議を通して、改めて情報を得る必要があると気づきを得た。
- アドバイザー
本人の思いが一番重要。思いを実現、継続していくためには何が課題なのかハッキリさせることが大切なので、その部分をしっかりと検討して行きたい。
- サービス事業者
参加者だけでなく、関係者にも会議自体の存在や内容を情報提供して欲しい。ケア会議を通じて、地域全体の質の向上や課題の抽出に繋がると実感した。

時間外相談受付、休日相談の実施状況

概要 本年度から、夜間・早朝・休日相談の実施により、よりきめ細やかな総合相談支援業務の充実強化を図っています。

毎月第1日曜日の9時30分～12時まで、安来市中央交流センターにおいて休日相談を実施しています。日頃、お仕事などで平日は相談できない人の窓口として、高齢者の方の介護・福祉・生活・認知症・介護離職等に関する相談を受け付けています。申し込みは不要で、相談は無料です。

また、時間外（平日17時15分以降、土日祝日）の電話は携帯電話への転送となり、当番の職員がいつでも相談に応じています。

▼基幹センターひろせ（0854）32-9110

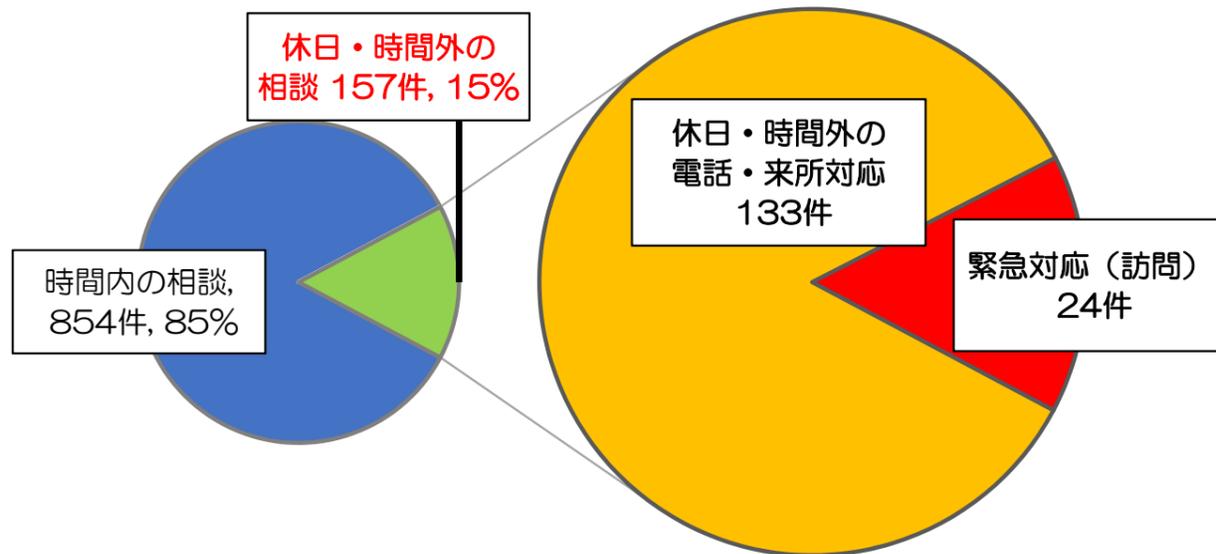
▼はくたサブセンター（0854）37-1540

▼やすぎサブセンター（0854）27-7100

休日・時間外の相談対応件数 集計期間 4月1日～6月30日

総合相談件数（全体）1011件

休日・時間外対応件数 157件（電話・来所133件 訪問などの緊急対応 **24件**）



大型連休中の対応件数 集計期間 4月27日～5月6日

10連休中の対応件数 48件

緊急対応件数（自宅訪問など） 9件

～こんな事例に対応しました～

- 民生委員さんより、一人暮らしの方の安否確認の同行の依頼があり、訪問したところ、意識不明で倒れておられるのを発見。警察、病院と連携し入院していただき、一命をとりとめました。
- 一人暮らしの高齢者が急に動けなくなったので支援して欲しいと連絡があり対応しました。病院と連絡を取りご家族を支援。当初、整形外科の疾患と考えられていましたが、難病でした。
- サービス事業所より連絡が入り、心不全が増悪した一人暮らし高齢者の入院支援を対応しました。遠方のご家族が到着するまで支援をしています。
- 家族が平日休みを取ることが難しいため、休日に面談し、相談に応じました。

新地区での「こけないからだ体操」がスタートしました！

■昨年度の広瀬地区に続き、今年度は島田地区と伯太地区それぞれ15名の皆さんが参加し実施しています。

週1回程度の簡単な体操ですが、最初は「毎週参加できるのか？」「どんな運動をするのだろうか？」と不安そうな顔の皆さんでした。開始前の体力測定を行うと理学療法士さんもびっくり！予想以上の良い結果が出て、6か月後が楽しみとなりました。



管理栄養士さんや歯科衛生士さんの協力も得て、栄養や口腔の話もしていただいています。

「運動・栄養・口腔」を取り入れた、**※フレイル（虚弱）予防**の内容にもなっています。

■歌を歌いながらの運動は、最初は戸惑い気味でしたが、だんだんと笑顔が見られるようになりました。皆さんが元気で楽しく暮らしながら健康維持ができるように、お手伝いします。

※昨年度の広瀬地区の取り組みを通して、包括の職員も毎週の運動を行う効果を実感しています！

※フレイル（虚弱）とは

厚生労働省研究班の報告書には「加齢とともに心身の活力が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態であるが、一方で適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な状態像」とされています。

高齢者はフレイルになりやすいため、**早期からの予防が大切**です。

認知症講演会、本人の集いの開催のお知らせ

●認知症講演会

～共につくろう若年認知症の方が就労を可能にするための安来づくり～

1. 内容

(1) 報告 「若年認知症実態調査結果」

(2) 講話

(3) トークセッション

当事者 丹野 智文氏（おれんじドア代表）

当事者 藤田 和子氏（日本認知症本人ワーキンググループ代表理事）

2. 会場 安来商工会議所「大ホール」

3. 日時 令和元年9月21日 土曜日 13時30分～15時45分



丹野智文さん

●本人交流会

認知症の方々（当事者）が思いを語り合い交流します。

認知症講演会でお話をしてくださる、丹野智文さん、藤田和子さんが参加して下さいます。

1. 参加者 認知症の方、そのご家族、パートナー、関係者

2. 日時 令和元年9月21日 土曜日 午前10時～12時30分